



認知症の予防方法

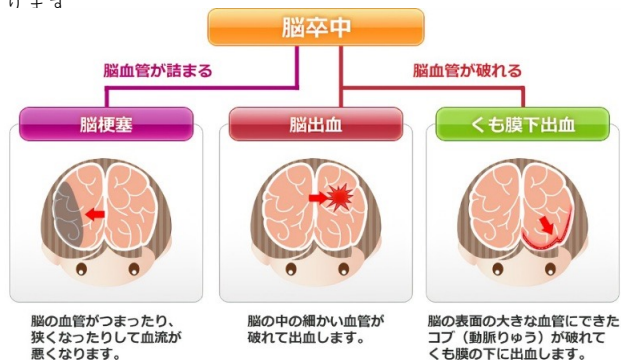
4月に入り、春の温かさを感じられるようになってきた今日この頃、皆様いかがお過ごしでしょうか。
今回は、**脳血管疾患 - part① - 「脳卒中とはなにか？」**についてお伝えします。



1. 脳卒中とは

脳卒中とは、**脳の血管が詰まったり破れたりすることによって、脳が障害を受ける病気**です。

脳卒中を発症すると、障害を受けた脳が司っていた身体機能や言語機能が失われたり、場合によっては死に至ることもあります。



2. 脳出血(約3割)



脳出血は、**脳の血管が破れて出血が起こる病気**です。

血管から血液があふれると血の塊（血腫）ができます。血の塊（血腫）は脳にダメージを与え、塊が大きくなると頭蓋骨の圧が高まって脳を圧迫します。

⇒圧迫されると、脳の機能に様々な障害が出てきます。救急疾患のひとつで、死に至ることもあります。

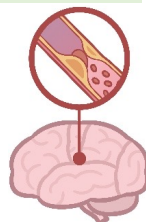
原因

主な原因は**高血圧**です。

脳の血管は細くてデリケートにも関わらず、血圧の負荷が強くなる場所に位置しています。**高血圧に長期間さらされていると、血管の壁の一部が裂けて血管が破裂し脳出血が起こります。**

3. 脳梗塞(約6割)

梗塞というのは**血液の流れがある部分で止まってしまい、必要な血液を得ることができないために細胞が死んでしまう状態**になります。脳の細胞は再生することがまずないので、脳梗塞で機能が失われると、命が助かって後も後遺症が残ってしまいます。



原因

①脳の血管に起こる動脈硬化

脳の動脈硬化が進むと、血管の内部が狭くなって血液の流れが悪くなります。⇒血の塊ができると血液の流れが完全に塞がれます。

②心臓によるもの

心臓でできた血栓が、血流によって脳に運ばれてそれが脳の血管を詰まらせます。

4. くも膜下出血(1割)

くも膜下出血は発症すると**死亡率が5割近くになる病気**です。**脳を包んでいるくも膜の内側の血管で出血が起こります。**

血管に動脈瘤ができ、圧力が加わって破裂することで発症します。

原因は不明・・・



動脈瘤ができる原因は解明されていませんが、血管の弱い部分にできやすいです。

くも膜下出血を発症すると、**激しい頭痛**が起こり意識障害や嘔吐などの症状が出ます。頭痛の症状は出ずに突然意識を失う人もいます。

くも膜下出血の前兆は血圧の乱れです。数日前から血圧が乱高下していて、くも膜下出血を起こす例が多いです。